

AIの情報をかしこく使おう

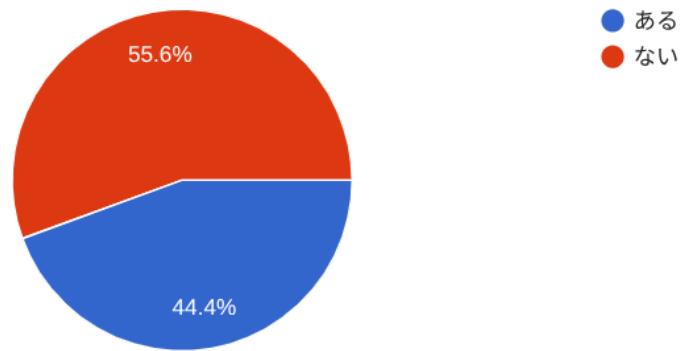
1. 提案のきっかけ

(1)わたしたちの経験と、調べて分かったこと

AIに違和感のある情報を出されたことがある人は多いと思う。例えば、AIに「ピザのチーズがずるずるすべらずに食べる方法」と検索したら「チーズに接着剤を混ぜればよいです。」という答えが返ってきた事例があるそうだ。(※現在は修正済みだ)みなさんはこの事例についてどう思うだろうか。

また、AIが誤情報を出してきたことがあるかアンケートを取ってみると27人のうち、**12人が「ある」と回答していた。**

誤情報の内容は、間違った計算方法を教えてきたり、架空の人物を作り出してしまったりと様々な事例があった。



(2)解決したい課題

このように、**AIはたまに間違った情報を出してしまうことがある。**そのため、AIが教えてくれる情報をうのみにしてしまうと、間違った情報を覚えたり、広めてしまったりすることもあるかもしれない。最近では学習でAIを使うこともたくさんあるため、この課題を解決する方法を提案したい。

2. 提案

具体的な提案内容

(1) まず1つ目は、**「複数の情報源を確認する」**ことだ。重要な情報や初めて聞く情報は、信ぴょう性のある他のサイトをいくつか見て内容を確認するとだまされにくくなる。

(2) 2つ目は、**「AIに情報の根拠を尋ねてみる」**ことだ。AIは間違った情報や古い情報をもとに答えることや、存在しないものを出してくることがある。なので、「情報源が信頼できるかどうかを確認する」と良い。

効果:この二つを実践してみることで、**間違った情報を広めてしまったりすることを未然に防ぐことができる。**

3. まとめ

AIは手軽に情報を得ることができて、とても便利だ。しかし、AIも間違った情報を出すことがある。間違った情報を覚えたり、広めたりしないためにも、提案したことを実せんして**正しくAIと付き合っほしい**。

参考資料:AIが出す「もっともらしい嘘」にご用心！ ハルシネーションの仕組みと対策を学ぼう 株式会社HIBARI 佐藤 羽瑠
https://bc.at-s.com/kiji/column_029